



2024年8月1日発行
(毎月1日・1回発行)
1988年1月27日第3種郵便物認可
定価50円
発行/
公益財団法人横浜YMCA
広報センター
〒231-8458
横浜市中区常盤町1-7
Tel 045-662-3721

横浜青年

YMCA NEWS

8

諸団体や企業、ワイズとの連携を強め
ともに生きる社会の実現に貢献する

横浜YMCAでは、「VISION2034」を策定し、創立150周年(2034年)に、どのような社会を目指すか、持続可能な地域や社会となるための長期計画に基づき
歩を進めています。計画では4つの領域「子育て子育て」「生活のクオリティの向上」「ユースエンパワーメント」「社会に貢献」を掲げています。今号では「社会に貢献」
について共に考えていきたいと思います。

横浜YMCAは、創立150周年を迎える2034年に、どのような社会を目指すか、持続可能な組織となるための長期計画「VISION2034」を策定し取り組んでいます。2024年4月からは第2期中期3カ年計画として、歩を進めています。

横浜YMCAでは、自然と人の生命(いのち)が尊ばれる平和な世界に向けて、人と社会と地球との調和のとれた持続可能な地球共生社会を実現しようと、世界や地域のYMCAとつながり、社会課題を共に担うパートナーと連携し、SDGSの取り組みを強め「社会に貢献」する活動を展開しています。

2011年3月11日の東日本大震災は、私たちの人生と生活に大きな影響を



▲平和についてともに学び考えた「会員大会-ピースフォーラム-」(2024年2月)

与えました。2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、世界中に広がり、いかに多くの人や物が地球規模で往来しているかを実感しました。近年、森林伐採などの「自然環境破壊」や地球温暖化が招く大規模な森林火災や豪雨災害を引き起こす「気候危機」が、次々に出現する動物由来の感染症やその拡大に深く関連しているといわれています(環境省)。そのような中で、災害や感染症に強い社会や経済を作り、生態系と生物多様性を保全していくための「グリーンリカバリー」は大切な考え方です。今後さらに外国人との共生が必要とされるなか、日本に住む外国人への差別や偏見は、日本社会において大きな問題となり得ます。また、YMCAが関東大震災直後から推進してきた在日外国籍の人びとの共生の働きは、これからも進めたいかなければなりません。個々の多様性を受け入れ、それぞれの違いを活かすというDiversity&Inclusion考え方が大切であり、性の多様性、障がいのある人びとへの理解を深めることが求められます。さまざまな「違い」から生じる差別やいじめなどの人権に関する問題は、それぞれの歴史や背景を深く学び、理解することが大切です。「個人」が集まって成り立つ「地域社会」の課題は「自分のために生きる」という価値観から、自然や人の生命が危機に瀕している時に「力になりたい」と思う「他者とともに生きる」という価値観が生まれ、解決の糸口につながります。

VISION2034 自然の生命と人間の生命が大切にされる、また協力し合い、支え合いながら人と社会と地球との調和のとれた持続可能な社会を実現するために

企業や団体とともに
障がいのある子どもたちを応援
障がいのある子どもたちを応援しようと10月に開催している「横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン」は、リアルとオンラインの大会が行われ、子どもからシニアまで404人が参加(2023年)しました。リアル大会では、車いすラグビーやブラインドサッカーなどの選手たちが、伴走者とともに参加しました。賛助会企業をはじめ、地域の企業や団体、ワイズメンズクラブなどの参加や協賛、大会運営などへの協力をいただき、ともに生きる社会づくりにつながっています。

平和な社会を創るために
会員大会-ピースフォーラム-
横浜YMCAは、維持会員の学びの機会やYMCA活動の場・ボランティア機会などの紹介、国際、多文化共生、平和について考える機会として毎年2月に「会員大会-ピースフォーラム-」を開催しています。講演会やアフタースクール事業のひろしまピースキャンプに参加した学童からの報告、横浜YMCAにつながる団体やグループの紹介などが行われています。この大会は会員事業委員会が企画運営し、平和な社会を創るために学び、交流しています。

地域の企業との連携を図る
横浜YMCA賛助会とともに
横浜YMCA賛助会は、横浜YMCAの青少年育成や地域の人びととともに平和な社会を創ることを目指す目的と願いに賛同し、活動を援助・支援する法人により構成する会員組織です。2023年には、横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン支援のための異業種交流会や各企業の特徴を生かし、子どもたちを対象とした「おかねの教室」や留学生を対象に「就職のための模擬面接」などを開催し企業の社会的責任(CSR)の実践につながる活動を進めています。

ワイズメンズクラブと
協働し活動を展開
横浜YMCAをサポートするワイズメンズクラブは現在、横浜、鎌倉、厚木、金沢八景、横浜つづき、横浜つるみ、富士、富士宮の8つのクラブがあります。それぞれのクラブは、各YMCAと協働し、日本語スピーチコンテストや室内サッカーなどのサポートや地域清掃、留学生への日本語チューターなどの活動を実施しています。11月を中心に開催される国際・地域協力募金のための各YMCAのバザーでは、準備や当日の運営、街頭募金の呼び掛けなどYMCAと協働して取り組んでいます。

ホドス
瀬戸内海の小豆島の隣に余島という小さな島がある。この島全体が神戸YMCAのキャンプ場だ。中学2年の夏休みに余島キャンプに参加した。これが筆者の最初のキャンプ体験であり、YMCAとの出会いでもあった。海に囲まれた大自然の中で大学生のリーダーと寝食をともにして、過ごした2週間のキャンプは強烈な印象として心に深く残った。大学卒業後3年間は、キャンプディレクターとして中高生のキャンプに関わった。折しも時代は高度経済成長期。経済が上向きになると同時に、余暇をどう過ごすかが課題であった。YMCAとYWCAが合同でレクリエーション指導者講習会を立ち上げ、企業や学校に呼び掛けた。日本全国からレク指導者を目指す若者が集まり、その道の第一線で活躍され、今は亡き三隅達郎、江橋慎四郎、松原五一、竹内菊枝といった諸先生から直接、筆者もレクリエーションやキャンプの理論と実践を学ぶことができた。結婚後も小学生キャンプを長くお手伝いしてきた。キャンプは全人教育であり、子どもたちの心も体も大きく成長する。その姿に接するのが楽しみだった。そして神様と出会う大事な機会となるかもしれない。今年もYMCAのキャンプに多くの子どもが参加する。どうか楽しい思い出とともに、人間を超えた大きな存在に気づくキャンプであってほしい。野尻キャンプ場(東京YWCA)のメインホールに掲げられていた聖句が忘れられない。「汝の若き日に、汝の造り主を覚えよ」(旧「伝道の書」、口語訳「コヘレトの言葉」)

YMCA NETWORK NEWS

横浜夏の海外プログラム 学びと交流豊かに

横浜YMCAでは、7月と8月にハワイ、タイ、台北へのプログラムが実施されている。このうち7月21日からは、英語学校ハワイキャンパ「Hi Power Summer」が行われ、小学生から中学生までの7人が出発した。米国ハワイ州オアフ島ノースショアにあるホノルルYMCAのキャンプ場(キャンプアードマン)にてサーフィンや乗馬などのさまざまなアクティビティやTraditional Campに挑戦している。



▲2024年3月タイにて

8月7日から19日には地球市民育成のための「グローバル・スタディツアー in タイ」が行われる。人身売買から児童を保護し、就学支援や職業訓練で自立支援を推進しているパノクYMC A パオオセンターを訪問し、子どもたちの交流や山岳少数民族の村でのホームステイなどを通して人身売買や貧困、気候変動などの社会課題について学ぶ。17日から21日には台北において東アジアで行うスイムフェスティバルに参加する。今夏も新たな出会いと学びの機会につなげていく。

障がいのある青少年を応援しよう 第27回インターナショナル・チャリティーラン



10/19 臨港パークでリアル大会
10/2~10/16 オンライン大会

障がいのある青少年を応援する「第27回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン」(主催横浜YMCA・後援神奈川県、横浜市にぎわいスポーツ文化局ほか)

Topics

140years of HISTORY 研究会や講演会活発に(1896年) vol.5

1892年10月に発行の「青年会月報」(東京YMCA発行)には、各地のYMCAの活動状況が報告されています。その中に、「横浜通信」として青年会と海岸教会の青年白羊隊について書かれています。1894年には海岸教会、指路教会、他の教会の青年たちが連合しYMCA強化を図り、定期的に英語聖書研究会などを行いました。

1896年に第6代和佐正会長長の渡米に伴い、第7代会長に海岸教会の牧師細川瀧氏が就任しました。この年の11月には指路教会を会場に演説会を開き1000名を超える聴衆を集めました。毎月の例会(月次会)では、各教会を会場に開催し、11月7日に戸部の美以教会で行われた。江馬富之助国手による衛生談(青年の運動法)では、従来の運動法への注意と適切な運動法として撃剣術を参加した80人を超える青年たちに勧めました。1901年までに講演会などを続け、青年会の活動の基礎が固まってきました。1899年には、東京帝国大学在学中に熱心に大学基督教青年会(東京大学YMCA)のために働いた原諒太郎氏が横浜正金銀行本店に就職し、横浜YMCAの会員になり、第8代会長に選ばれ草創期から次につなげる働きを支えました。(参考「横浜YMCA百年史」)



▲多く青年が参加した英語聖書研究会(1920年代)

ポジティブネットをひろげよう ~今月のよくなる一歩~

へいわ みらい
平和な未来に
む かんが 向かって考えよう!
(Respect 尊敬心)



▲スペシャルランのスタート ▲右)2024チャリティーランTシャツ



は、臨港パーク内特設コースを5人1チームで走るリアル大会は10月19日(土)にチーム・個人でエントリーするオンライン大会は10月2日(水)から16日(水)までに歩いた歩数をカウントして行われる。チームならびに個人のエントリーは、7月1日から受け付けを開始している。

各YMCAでは、支援を広げていこうと大会エントリー費用を募金として呼び掛けるほか、チャリティーランT

シャツの販売を案内している。今年もデザインは職員から公募し、走っている人を文字のデザインに合わせてピクトグラムにしたデザインが選ばれた。販売価格より原価を除いた額が募金となる(協力株式会社安藤スポーツ)。サイズは、子どものサイズから大人のサイズがあり、半袖と長袖それぞれ2色。価格は半袖1600円。(募金額6700円)、長袖1800円(募金額7600円)。第2期販売は8月5日(月)から23日(金)までとなる。詳細・申し込みは各YMCAへ。このほかにも各YMCAでは、大会への参加やチームスポンサー、物品協賛への参加も呼びかけている。

みなとみらい臨港パークにて対面で開催するリアル大会は、一般のコースに加え、幼児・スペシャル・小学生のチームに分かれて行われる。オンライン大会は、15日間の歩数の合計をチーム参加と個人参加により専用の

ウォーターセーフティーキャンペーン8920人が参加



▲今年から親子での参加もできるようになった着衣泳体験(湘南とつかYMCA)

横浜YMCAでは、全国のYMCAとともに6月1日から9月末まで水難事故から子どもをいのちを守り、子ども

たちの水辺での豊かな経験が「いのち」を育むことを推進するとして「ウォーターセーフティーキャンペーン」に取り組んでいる。

「自分のいのちを守り、みんなのいのちを大切に」をテーマに、6月16日にはウォーターセーフティーデーとして「25mチャレンジ」「着衣泳講習会」などの体験に7つのYMCAで親子合わせて220人が参加し、海や川などで溺れた際に、いのちをどのように守るかにについて学んだ。また、YMCAや地域の幼稚園・保育園・小学校などの幼稚園・保育園・小学校などにて着衣泳講習会、水上安全法、CPR(心肺蘇生法)講習会を教員や保育園職員に向けて行い、延べ5千138人(7月10日現在)が参加した。

このほか、YMCAの水泳クラスに参加している延べ3千562人の子どもたちが、着衣泳の体験をプールで行った。子どもたちは「洋服を着たまま泳いだら疲れた」「浮いて待つことが大事」などの感想を語った。

いのちを守る行動などをまとめたハンドブックは、神奈川県内の小学校などに2万2000部配布した。

委員長により企画・運営の準備を進めている。事務局では、大会運営のボランティアの募集や障がいの

理解を深め、青少年の応援につなげるよう参加を呼び掛けている。



♪子育てランド♪ 熱中症に気をつけて!

連日の暑さに熱中症対策が欠かせません。子どもが熱中症になりやすい理由を知ってしっかり対策しましょう。

子どもは、汗をかく機能が未発達なため、体に熱がこもりやすく、体温調節がうまくできません。また、身長が低いと、照り返しの影響を強く受けます。大人の体感温度なら約32℃でも、子どもは35℃程度となります。子どもは、自分で適切に水分補給ができなかつたり、体に異変を感じてもうまく伝えられなかつたりするため、自分で予防することができません。

そのため、子どもの熱中症を防ぐためには、大人が十分な対策を取る必要があります。対策① のどが渇く前に、こまめに水分補給。対策② 風通しのよい明るい色の服を着る。対策③ 帽子をかぶる。対策④ 日陰や室内でこまめに休む。対策⑤ 暑さ指数を活用する、などが挙げられます。大人が「厳重警戒」の時には子どもは「危険」レベルと考える、しっかり対策し、楽しい夏を過ごしましょう。

(YMCAつるみ保育園 看護師 綾部美佐子)

横浜 ソロプチニスト横浜 からタイ支援へ寄付

タイの児童保護プロジェクトとして横浜YMCAがバンコクYMCAと協働で行っているプロジェクト・ア・チャイルドに、6月を最後に解散する国際ソロプチニスト横浜から20万円の募金が寄せられた。



6月21日にホテルニューグランド(横浜市中区)にて行われた例会において、齋藤素子会長から横浜YMCA国際・地域事業柳原絵里子スタッフに手渡された。
長年にわたる同プロジェクトへの寄附に対し、バンコクYMCAバヤオセンターのノイ所長から感謝のメッセージが届けられた。

相互の学びと交流重ね平和を創る 取り組みにつなぐ働き進める 光州YMCAから短期研修団来浜 今秋には横浜Yから光州Yへ研修予定



6月24日から28日に、光州YMCA短期研修団が横浜YMCAにて研修を行った。
初日は、ホストファミリーが出迎え、久しぶりの再会を喜び合う姿も見られた。2日目からは、東かながわ保育園、横浜中央YMCA、湘南とつ



▲光州YMCAの来訪を歓迎する保育園の子どもたち

かYMCA、横浜市鶴見中央地域ケアプラザ(横浜YMCA指定管理)、横浜市中区地域子育て支援拠点のんびりんこ(運営受託)などを視察し、横浜YMCAの事業について学びを深めた。理事・常議員による歓迎会も行われた。

後半には、5人の青年の祈りから140年前に横浜YMCAが生まれた横浜海岸教会を訪ねたほか、富士山YMCAグロバー・エコ・ヴィレッジを訪れ、上海・光州・横浜YMCAの「平和の鐘」を鳴らし、共に平和を願った。
光州YMCAと横浜YMCAの相互交流のはじまりは、1978年に横浜YMCAのサッカーチームが光州

YMCAを訪問するサッカー交流としてスタートし、2008年まで続いた交流では、372人が横浜から光州を訪れ、光州からは169人の子どもたちを受け入れた。2010年からはオルタナティブ事業の交流としてトライアングル国際キャンプが行われた。職員は長期派遣研修や短期研修、周年事業などを通じた、さまざまな機会に、光州と横浜のきずなを深める交流を進めている。

2009年に横浜YMCA創立125周年の際に行われた記念式典において、横浜海岸教会の鐘が125回鳴り響いた。その礼拝に参加した第10回三都市YMCA会議の参加者(上海・光州・横浜)が、将来にわたり子どもたちの心に平和の鐘を響かせたい、継続して平和を市民レベルで考えていく姿勢の表れとして、それぞれのYMCAに平和の鐘を設置することが決まった。

2014年10月に、光州YMCAから横浜YMCAに最初の「平和の鐘」が贈られ、富士山YMCAに設置した。以降、キャンプを訪れた子どもたちが平和を願い、鐘を撞いている。
今秋には、横浜YMCAから光州YMCAへ短期研修団の訪問が予定されている。

「シエラレオネにおける中高生性教育プログラムで若年妊娠問題の根本解決を」(主催国際・地域事業)として、女性への差別や偏見の解消に向けた活動を続けるNPO法人アラジの下里夢美氏を迎え、西アフリカ・シエラレオネにおける中高生性教育プログラムにおける中高生性教育プログラムを学ぶ。8月3日(土)午前10時から11時30分に行う「学校で使えるワークショップ」(主催横浜中央YMCA)では、中学・高校の教員、教員志望の方、関心のある方を対象として性教育に役立つワークショップを紹介し、体験とアイデアを出し合う。詳細はQRコードをご参照ください。予約不要・入場無料。

常議員会議長に 黄宗子氏選任

6月20日に開催された理事・常議員会において、常議員会議長の改選が行われ、議長に黄宗子氏が、副議長に中村敦氏が選出された。
常議員会議長は、会則第12条に基づいて毎年改選されているもので、黄氏、中村氏は共に2期目の就任となる。

AIDS文化フォーラムin横浜 8月2日から4日に34のプログラム

8月2日(金)から4日(日)にかけて、横浜YMCA(横浜市中区)にて開催される第31回「AIDS文化フォーラムin横浜」(同組織委員会主催・神奈川県共催・事務局横浜YMCA)は、みんなの本音が聴ける・語れる場として「伝えるむずかしさ」をテーマに、34のプログラムと展示

が行われる。
2日(金)午前10時からの開会式後のオープニングでは「エイズ・性教育再考」をテーマにHIV/AIDS教育のこれまでを振り返り、未来に向けての展望や期待を参加者とともに考えていく。
横浜YMCAでは、2日(金)午後1時から2時30分に

「シエラレオネにおける中高生性教育プログラムで若年妊娠問題の根本解決を」(主催国際・地域事業)として、女性への差別や偏見の解消に向けた活動を続けるNPO法人アラジの下里夢美氏を迎え、西アフリカ・シエラレオネにおける中高生性教育プログラムを学ぶ。8月3日(土)午前10時から11時30分に行う「学校で使えるワークショップ」(主催横浜中央YMCA)では、中学・高校の教員、教員志望の方、関心のある方を対象として性教育に役立つワークショップを紹介し、体験とアイデアを出し合う。詳細はQRコードをご参照ください。予約不要・入場無料。

どんな状態を平和というのか。平和の実現のために何にどのように取り組むのか。平和でない状態を生み出す原因はたくさんあります。平和を創り出す、すべてに共通の処方箋はない、と自覚しているから、私たちは違う考え方や、信じるものを持つ人と理解し合い、認め合おうと努力します。それが平和への一歩一歩であるという行動をしています。そしてYMCAでは、違いを認め共に生きることのできる人を育むことが、平和を創り出す人を育むということなのです。

日本・中国・韓国の3人ずつ12人の絵本作家が共同で10冊の平和絵本シリーズを出版しています。その中の1冊『へい

ひとかき

平和・自由・友

総主事
佐竹 博

わってどんなこと?』(※)を紹介いたします。
絵本は「○○しない」「○○でない」といった「あつたら嫌なこと」がなければ、好きな人とずっと一緒にいら

れる、ご飯を食べられる、勉強できるなど当たり前のように思えることができないことを教えてくれます。ページをめくっていくと「平和って例えば、とし

て「自由な」自己表現、意見表明、信仰などが、かわいらしい絵で表現されています。これは「横浜YMCA」私たちの使命の最初にある「異なった文化、民族、思想、信条を尊重し」の部分と同じです。
絵本はまとめて「平和について」「自分が生まれてよかった」ということ、あなたが生まれてよかったということ、そしてお互いに友達になれるということとして締めくくられます。
イエスは「私はあなた方を友と呼ぶ(ヨハネによる福音書15章15節)」と言っています。平和を祈り願うことの多い夏、友となることについて考えさせられます。

『へい わって どんなこと』(浜田桂子作・童心社)

FLASH NEWS

7月6日に行われた「多文化共生を考える講座」は、フィールドワーク①として、日系ブラジル人が中心となりはじまった横浜市鶴見区にあるABCジャパンを訪問した。藤浪海理事からABCジャパンの外国につながる住民のための自立支援や多様性を生かしたまちづくりを目指した活動について話を聞き、意見を交わし、多文化共生について考えた。次回は、9月28日(土)に、在日朝鮮人の人びととともに生きる地域や社会づくりの活動に取り組む川崎戸手教会(川崎市幸区)を訪問する。詳細・申し込みはQRコードをご覧ください。お問い合わせいたします。



タイの社会課題について考えていこうと開催された7月27日のグローバルセミナーは、齋藤百合子氏(国際事業委員・大東文化大学国際関係学部特任教授)を講師に迎え「北部タイの子どもや若者の人身取引防止の取り組み」と題して行われた。8月7日から「グローバル・スタディーツアーinタイ」の参加者もセミナーに参加しツアーの事前学習を行った。

ワイズ さらに輝くクラブ目指す コーナー 厚木ワイズメンズクラブ

輝く一年の始まり7月に、厚木ワイズメンズクラブでは、新しい仲間が1名増えました。入会の歓迎を祝して部長公式訪問とハンドベルグループ「ペルーネ」をお迎えして演奏会を行いました。当クラブでは、毎月1回YMCAあつぎ保育園ホサナにて「紙芝居と絵本の読み聞かせ」を行います。コロナ禍には活動を控えていましたが、2023年から復活し、復活後は一度も休むことなく園児たちに「アンパンマンおじさん」と親しまれている小林秀ワイズ(90歳)に、園から感謝状が贈られました。今年9月には20周年を迎えますが、今後も平和を願い社会貢献、みんなのため、自分のためにワイズの活動を通して、さらに輝くクラブでありたいと思います。(厚木ワイズメンズクラブ会長 佐藤節子)

横浜中央YMCA Tel 045-662-3721
 横浜北YMCA Tel 045-433-4321
 藤沢YMCA Tel 0466-26-1151
 横須賀YMCA Tel 046-854-5126
 川崎YMCA Tel 044-932-2031
 厚木YMCA Tel 046-244-4181
 鎌倉YMCA Tel 0467-24-7859
 YMCA山手台センター Tel 045-813-1022
 湘南とつかYMCA Tel 045-864-4768
 金沢八景YMCA Tel 045-782-3003
 YMCA東とつかセンター Tel 045-392-3747
 大和YMCAライフサポートセンター Tel 046-264-3192

横浜YMCAワークサポートセンターアンジュ Tel 045-867-0090
 横浜YMCAワークサポートセンターレザン Tel 045-860-5252
 YMCAあつぎ保育園オサナ Tel 046-222-8619
 YMCA山手台保育園アルク Tel 045-813-1022
 YMCAとつか保育園 Tel 045-870-3663

YMCAマナ保育園 Tel 045-790-3588
 YMCAとつか乳児保育園 Tel 045-870-3235
 YMCAつるみ保育園 Tel 045-500-5030
 YMCAかわさき保育園 Tel 044-520-1825
 YMCAいずみ保育園 Tel 045-800-3010

YMCA東とつか保育園 Tel 045-820-5588
 YMCA東かながわ保育園 Tel 045-440-3763
 YMCAたかつ保育園 Tel 044-281-7833
 金沢八景YMCA保育園 Tel 045-353-5130
 YMCAオベリン保育園 Tel 042-707-9974
 大和YMCA保育園 Tel 046-214-3192
 社山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ Tel 0544-54-1151
 三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ Tel 046-888-2100
 鶴見中央YMCA Tel 045-508-7800
 YMCAライフサポートセンター鶴見 Tel 045-506-0131
 本部事務局 Tel 045-662-3721

INFORMATION

横浜YMCA



●新型コロナウイルスの感染・拡大防止のため、イベントを延期・中止させていただく場合があります。(参加費は税込み)

レクチャー

■第31回AIDS文化フォーラム in 横浜

日時 8月2日(金)~4日(日)午前10時~午後5時30分(最終日午後4時)
 会場 かながわ県民センター(横浜駅西口)
 参加費 無料
 主催 AIDS文化フォーラム in 横浜組織委員会
 共催 神奈川県
 問合せ AIDS文化フォーラム in 横浜事務局 (横浜YMCA内) Tel 045-662-3721



○シエラレオネにおける中高生性教育プログラム若年妊娠問題の根本解決を

日時 8月2日(金)午後1時~2時30分
 会場 会議室306
 講師 下里夢美氏(特定非営利活動法人アラジ代表理事)
 内容 西アフリカ・シエラレオネにおける中高生性教育の事例を学びます。
 主催 横浜YMCA国際・地域事業
 ○学校で使えるワークショップ
 日時 8月3日(土)午前10時~11時30分
 会場 会議室303
 講師 横浜中央YMCA有志

内容 性教育に役立つワークショップを紹介いたします。
 主催 横浜中央YMCA

キリスト教理解

■平和のための合同祈禱会

日時 8月3日(土)午後2時~3時
 会場 日本キリスト教団辻堂教会
 内容 平和のための合同祈禱会
 テーマ “平和”について
 参加費 無料
 主催 藤沢市内キリスト教連絡会
 申込み 藤沢YMCA(事務局) Tel 0466-26-1151

■とつか聖書を学ぶ会

日時 8月8日(木)午前10時30分~11時30分
 会場 湘南とつかYMCA1階ホール
 テーマ イエス・キリストの教えた生き方
 講師 堀野浩嗣氏(横浜戸塚バプテスト教会牧師)
 参加費 無料
 問合せ 湘南とつかYMCA Tel 045-864-4768
 ymsports@yokohamaymca.org

イベント

■アンネのバラ育て隊2024

アンネのバラの手入れをしながら、バラの育て方について学びます。

日時 8月27日(火)または30日(金)午前10時~11時30分 日程はお申込みの多い日程にて実施いたします。詳細はお問合せください。
 会場 藤沢YMCA
 内容 夏の芽つぎ(講義)・夏剪定(実技)
 参加費 1,000円(横浜YMCA国際・地域協力募金となります)
 問合せ 藤沢YMCA Tel 0466-26-1151

子育て支援

■横浜子育てサポートシステム入会説明会

日時 8月16日(金)午前10時~11時・29日(木)午後1時30分~2時30分
 会場 中区地域子育て支援拠点のんびりんこ
 対象 横浜子育てサポートシステムに入会を考えている方
 問合せ 横浜子育てサポートシステム中区支部事務局 Tel 045-663-0676

■プレママDay

日時 8月27日(火)午前10時~11時
 会場 金沢区地域子育て支援拠点とことこ
 対象 第1子妊娠中の方
 内容 タッチケア体験とおしゃべりタイム
 問合せ 金沢区地域子育て支援拠点とことこ Tel 045-780-3205

■横浜子育てサポートシステム入会説明会

日時 8月29日(木)午前10時30分~11時30分

会場 金沢区地域子育て支援拠点とことこ
 対象 横浜子育てサポートシステムに入会を考えている方
 問合せ 横浜子育てサポートシステム金沢区支部事務局 Tel 045-352-7110

学校説明会

■YMCA健康福祉専門学校

日時 8月3日(土)・5日(月)・7日(水)・10日(土)・20日(火)・22日(木)・24日(土)午前10時~午後2時~
 内容 オープンキャンパス体験会
 申込み Tel 046-223-1441
 詳細 QRコードをご覧ください。



■横浜YMCAスポーツ専門学校

日時 8月6日(火)・7日(水)・8日(木)午前10時~午後2時30分
 内容 学校・入試説明会*体験会
 申込み Tel 045-864-4990
 詳細 QRコードをご覧ください。



■横浜YMCA学院専門学校

日時 8月3日(土)・31日(土)午前9時50分~正午
 内容 国際情報ビジネス科学校説明会
 申込み Tel 045-661-0080
 詳細 QRコードをご覧ください。
 ※ご都合が合わない場合はご相談ください。



地域のグループの協力により大正琴を体験 みどりクラブ

7月1日に、第18回みどりクラブが十日市場地域ケアプラザにて行われ、大正琴演奏プログラム(協力大正琴アプリコットグループ)が行われました。曲目は「さくらさくら」「扉-すばる-」「となりのトトロ」などが披露されました。ウクライナの参加者は「曲の雰囲気や情熱が伝わってきました」と感想を語りました。演奏終了後には、参加者たちが自分で大正琴の演奏にチャレンジし音色を楽しみ、新しい視点から日本文化を知る良い機会になりました。演奏後には近況報告や情報交換を行いました。



鶴見川ゴミ拾いウォーク 鶴見中央地域ケアプラザ

鶴見中央地域ケアプラザ(指定管理者 横浜YMCA)では、SDGs14「海の豊かさを守ろう」につながる取り組みとして、6月29日に「鶴見川ゴミ拾いウォーク」を行いました。横浜つるみワイズメンズクラブ、大学生、ベトナム青年団、ちよこっと助け隊(日ごろから鶴見中央地域ケアプラザに関わるボランティア)、地域の方など28人が参加しました。生麦の河口干潟までに拾ったゴミの量は、燃やすごみ14.1kg、ペットボトル・缶1.8kg、プラスチックごみ0.4kgの合計16.3kgを回収しました。参加者一人ひとりが環境について考える機会となりました。



140years of HISTORY

横浜YMCAは2024年10月に140周年を迎えます。140年のあゆみを写真で紹介いたします。



▲戦後に再開された少年部のキャンプ(1951年)



2024年3月のグローバル・スタディーツアー in タイでは、現地の人と言葉を交わし、客観的に問題を知らうとする大切さを改めて実感しきつかけになりました。

価値観、経験を持つ方々の出会いと多くの学びの場がYMCAの魅力だと思います。私は幸運にも、社会に問題を発信する立場になることができました。発信という面から問題解決のきっかけづくりに携わっていきたくと思っています。

私は、今年4月から社会人生活を送っています。YMCAで学んだ相手を選ばない献身と与えられた環境への感謝は社会人になっても変わらず、人間関係構築の基盤であり続けると思っています。自分ではない誰かのため、社会のために行動すること、そして自分に与えられた環境は決して当たり前ではないことを胸に刻み、また、今後YMCAで得た経験などを今の学生たちに還元できればと思います。多様な年代、

My Y Story

175

献身と与えられた環境への感謝 YMCAで人間関係の基盤学んだ今村 錬

グローバル・スタディーツアー in タイ参加者(2024年3月) 元鎌倉YMCAリーダー

YMCAの夏のキャンプやスキーキャンプに小学生の時から何度か参加しました。いつも多くの学びを与えてくれる刺激的な場所という印象がありました。大学2年の時に友人から学童クラブのリーダーの魅力を知り、私も携わってみたいと思い、鎌倉YMCAのリーダーになり活動しました。最初は子どもたちと遊ぶのは楽しそう、成長の一助になれたらという純粋な気持ちからでした。これまで出会ったYMCAのリーダー、スタッフは心から誰かのために、社会のために行動する利他性にあふれている人ばかりでした。いろいろ教えてくださることも多く、中でも、リーダー活動で自分が発した何気ない言葉や行動を子どもたちがどう受け止めるか考える機会をいただいたことは、それまで気にかけていなかった自分を含め周囲の言動にも気を配るように自分が変化してきたきっかけになりました。



▲山岳民族の村でのホームステイ先で(左/2024年3月)